

2014年度 前期		リフレクションペーパー						
学科名	電気通信工学科							
科目名	リメディアル数学							
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	1年次前期			
必修・選択の別	必修科目(組込みシステムコース)/必修科目(電気エネルギーコース)/必修科目(情報システムコース)							
担当者	喜屋武 毅							
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整式の変形ができる。(A1)</li> <li>・分数式の計算ができる。(A1)</li> <li>・簡単な方程式、不等式が解ける。(A1)</li> <li>・簡単な関数のグラフが描ける。(A1)</li> <li>・三角比がわかる。(A1)</li> </ul>							
日程と内容	04/11 導入講義 04/18 整式の計算と因数分解 04/25 剰余の定理, 因数定理 05/02 いろいろな数(実数, 平方根, 複素数)と式 05/09 複素数・方程式と不等式 05/16 いろいろな不等式・不等式証明・(演習1) 05/23 2次関数 05/30 いろいろな関数 06/06 指数関数・対数関数 06/13 加法定理とその応用・(演習2) 06/20 図形と式(点と直線) 06/27 円の方程式・いろいろな2次曲線 07/04 2次曲線の接線・不等式と領域 07/11 演習・解説(演習1, 2) 07/18 総合演習・(演習3) 07/25 定期試験							
成績評価基準	定期試験	70%	実技	0%	臨時試験	0%	部外評価	0%
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%	課題	0%		
	演習	30%	計	100%				
授業到達目標の達成度	講義内容については、達成目標のいずれの項目も概ね達成している。							
反省点	前年度より学力格差が広がった感が否めず、成績上位の学生には授業内容が平易になりがちで、授業内容に興味を引き出せていない状況があったかも知れない。習熟度の違いを埋めるような補充問題を準備する等、学生の興味を引き出せるような講義になるように改善に努める。また、学生の理解度を図りながらペースを変えて授業を行っているので、シラバス通りとはなりにくいが、到達目標の内容は網羅しており、特に問題視していない。							
来年度の計画	授業内容に関しては現状の削減予定はないが、学力格差の拡大に対する講義形式の工夫に努める。さらに講義内容を精査して授業への興味や理解度が深まるようにする。							
授業評価アンケートに対するコメント	学生の学力格差が大きく、授業進行に満足していない学生が見られたようで、授業内容に興味を引き出せていないようである。学生の積極性や理解度の程度によって、演習問題を課すなどしてできる学生の満足度を高めるような工夫がさらに必要である。							
履修登録者数	65名	定期試験受験者数	64名	合格者数	59名	合格率	92%	